

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

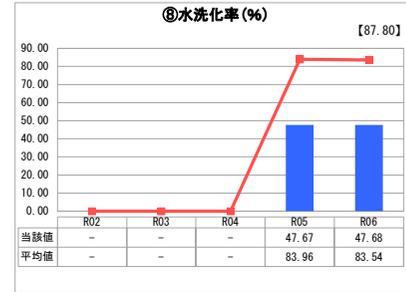
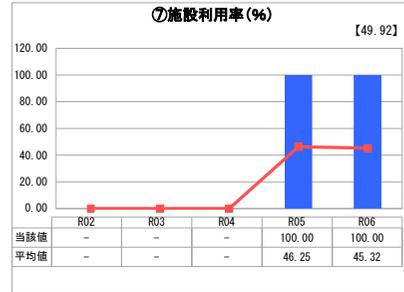
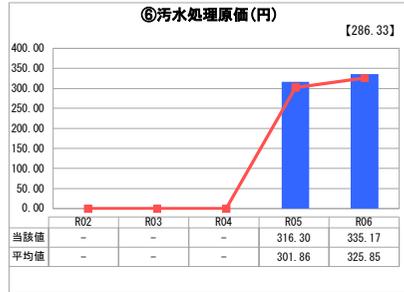
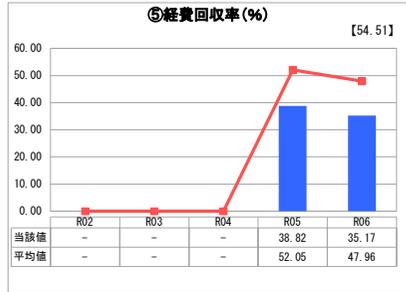
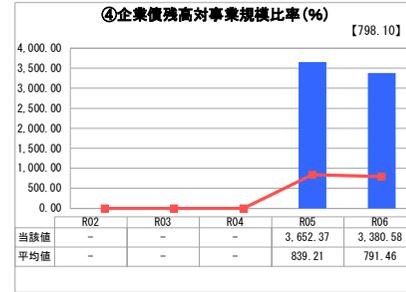
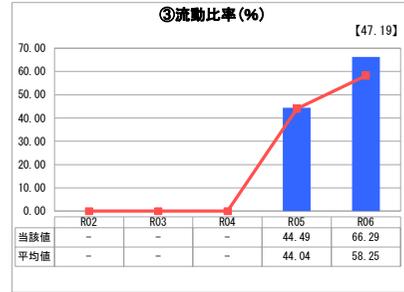
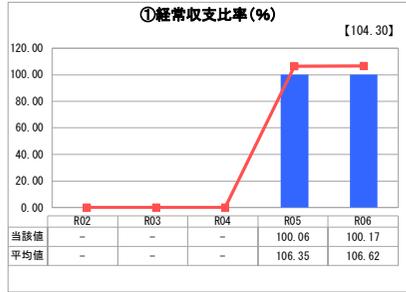
和歌山県 湯浅町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金 (円)
-	63.39	8.31	111.88	3,740

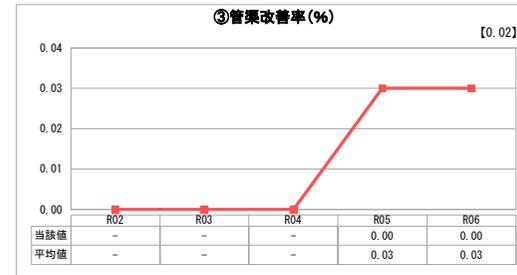
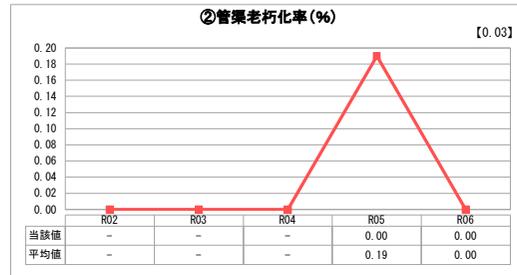
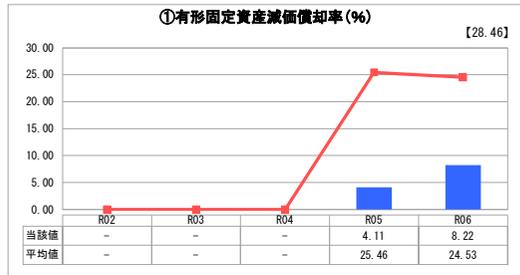
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
10,731	20.80	515.91
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
885	0.24	3,687.50

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は経常利益が黒字化しているが、使用料収入だけでは経費を賚せておらず、一般会計からの繰入で補っている状況である。接続率の向上による収益確保、更なる経費削減等の経営改善が必要である。  
 ②累積欠損金は発生していない。  
 ③流動比率は次年度に支払う企業債償還元金を計上しているため100%を下回っているが、企業債償還元金については一般会計からの繰入金で償還する見込である。  
 ④企業債残高対事業規模比率は類似団体平均より大きく上回っている状態である。また、起債償還にともない昨年度より減少している。  
 ⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価については使用料収入の確保と汚水処理経費の削減に努めることで、指標の改善を目指す。  
 ⑦施設利用率は高い水準を維持している。  
 ⑧水洗化率は類似団体平均を大きく下回っており、接続促進に取り組み、指標の改善を目指す。

### 2. 老朽化の状況について

農業集落排水事業は供用開始から20年を迎える。施設及び管渠等の更新は現時点では必要ない。機械設備については定期的に更新を行っているため①有形固定資産減価償却率は類似団体より低い水準となっている。

### 全体総括

処理区域内人口密度が低く、水洗化率も低いため、全体的な効率が悪く、汚水処理原価が高くなり、経費回収率が低い状況である。今後人口減少が見込まれる地域であることから、水洗化率が向上したとしても、使用料収入で全ての経費を賚ることは困難である。当面の間は、効率的な維持修繕の推進等により更なる経営改善を図り、安定した事業経営基盤の確立を目指す。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。